



在京古高同窓会会報
第42号

〒352-0031
埼玉県新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
☎ (042) 494-1598
FAX (042) 494-1598
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~furuko>
Email zaikyo-furuko@mx5.ttcn.ne.jp
発行責任: 曾根 研一
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

新年のご挨拶

会長 高橋 俊裕



新年あけましておめでとうございませう。同窓生の皆様にはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、十二支のスタートである昨年は、政治・経済・社会とあらゆる面に於いて根深い困難な問題が顕在化しました。

“平成”という年号は“外平からにして内成る”という言葉からとったそうです。しかし、平成になってからは“外混沌として、内昏迷深まる”の様相が続いている様に思います。

昨年はまさに“外寇内乱”の年でした。本年は丑年です。私達ももう一度自分の座標軸を見つめ直し、鈍重と云われるぐらい自分の信条・価値観に従って、諸選択をしていくことが求められていると思います。

そんな中、昨年11月5・6日、「ふるさと探訪ツアー」を同窓会本部、在仙同窓会の協力を得

て開催することが出来ました。在京同窓会として初の試みでありましたが、総勢26名の参加を得て、好天の中、充実した2日間を過ごすことが出来ました。

男女共学となった母校の学生の元氣澁刺としたあいさつ。ふる里の古代・中世・近世・近代の歴史、紅葉真つ盛りの鳴子などの風景、昔ながらの食べ物、本当に感動ものでしたし、新たな発見が多々ありました。

古高同窓生としてアイデンティティを確認出来たように思います。綿密な企画をしていただいた門脇先輩、2日間の名ガイドと郷土の銘酒を提供いただいた大崎市はじめ関係の方に感謝申し上げます。

さて、本年1月31日恒例の古川四校の新年会が古高幹事で催されます。

今回は母校の生んだ素晴らしい音楽家の協力を得て、新春コンサートを実施することにいたしました。多数の方のご出席をお願いいたします。

困難な時だからこそ、自分の取るべき道が見極められると思います。

本年が皆様にとって充実感あふれる年になりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4-3月、年会費は一口2,000円です。
- ・会の健全運営のため、振替用紙が同封された方には、納入をお願い致します。
- ・次回会報第43号は2009年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

伸びゆく古高

古川高等学校長

山本 照夫



新年明けましておめでとうございませう。在京古高同窓会の皆様にはご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成18年4月に古高に着任してからまもなく満3年、私の教員生活もまもなく終了しようとしています。教員生活の最後を古川高校で過ごせたことを大変幸せに思っています。百年を超える伝統校に相応しく、社会の第一線で活躍している、又は活躍してきた沢山の同窓生の皆様とお会い出来ました。在京同窓会、関西雪会、在仙同窓会、県庁同窓会、加美町同窓会、色麻町同窓会等、素晴らしい先輩諸氏と楽しく歓談することが出来ました。これはこの上ない喜びでした。

校長職になって3校目。最初の岩ヶ崎高校でも、次の宮城水産高校でも、古川高校でも、次の校長に恥ずかしくなく引き継ぎたい、少し

でも発展させて引き継ぎたいと思つて、仕事をしてみました。古高で十分な仕事が出来たか否かは心許ないところですが、前任者から受け継ぎ、何とか後退させることなく、後任者に引き継ぐことが出来るかなと思っています。

この3年は古高の歴史にとって大きな3年であったと思います。男女共学が完成し、古高の歴史始まって以来初の女子卒業生が誕生し、創立110周年のけじめのときであり、進学実績が向上して来て後退させることが出来ない状況の中で、地域からの信頼を更に確固たるものにするのが要求された3年であったと感じています。

「質実剛健」「学問尊重」「自主自律」の校訓を意識しつつ、知力・気力・体力に優れた社会貢献できる新しい人間の育成を目指して、「文武両道」、即ち、勉強と部活動の両立を教育方針として、生徒の育成に当たって来ました。

女子生徒の入学によって、従来の伝統を受け継ぎつつ、新しい爽やかな伝統が生まれて来ていると感じています。そして、古高がこれから益々伸び発展していくことを予感しています。

今、古高では、PTAの役員が元氣です。PTAの活動が活発です。大崎の中心校としての誇りある古高、復権しつつある古高を示しているように思います。先生方の努力とそれに応える生徒達の頑張りの成果であると感じています。

1年後の高校入試からの全県一学区という大きな試練があります。これからの伸び、進歩が楽しみな古高です。

お知らせ

第16回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日時】平成21年1月31日(土)
11:00~総会
11:50~新春コンサート
12:55~15:00懇親会

【会場】上野精養軒
電話 (3821-2181)

【会費】8,000円

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分



新春コンサート出演者
(8面に関連記事)

- ピアノ/野間 春美(S63古高卒)
- ヴァイオリン/工藤 春彦(S47古高卒)
- フルート/相澤 政宏(S62古高卒)
- バリトン/成田 博之(S62古高卒)
- サクソフォン/大和田雅洋(H1古高卒)
- クラリネット/伊藤 圭(H8古高卒)

同窓生の皆様には、今後とも変わらぬ母校へのご支援をよろしくお願い申し上げます。又、3年間、私に賜りましたご厚情、本当に有難うございました。在京同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

『雪』第42号の
発刊に寄せて

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



在京同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も皆様方にとりまして素晴らしい年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

また、常日頃から葛橋会長さんを中心と同窓会の範とも言うべき活動を展開し、母校に対しても多大のご支援・ご厚情を賜っており、申すことに申しあげます。

お陰様を持ちまして、母校も一昨年110周年を迎え、新生古川高校として大きく飛躍しつつあります。これ偏に皆様方のご尽力の賜物であると思っております。

私事で恐縮ですが、同窓会長を拝命してから、4年間各地の同窓会やクラス会等で多くの同窓諸氏にお会いする機会がございました。また、昨年の11月には、ふるさと探訪ツアーに参加させて頂きました。いつもこれらの諸会合に出席するたびに、何かしら温かいぬくもりとも言うべき安堵の気持ちを感じてまいりました。昨

今、人間関係が希薄になり、古の共同体的繋がりがなくなり、一人一人が孤立した存在になりつつある中で、同じ校歌と凶南歌や応援歌を大声で歌い合う同窓生の中に自分もおりますと、同一の国歌を歌うのを国民というイメージをお借り致しますと、謂わば同じ校歌を歌う"校民"すなわち"古川高校民"というアイデンティティ(同一性)を感じるから、私自身が"ぬくもり"を実感するのではないかと思っております。

同窓生の多くの方々が、私と同様、より一層の"ぬくもり"を感じられるような同窓会にして参りたいと思っておりますので、在京同窓会の皆様方のこれまで以上の一層のご指導、ご協力、ご叱責をお願いを申し上げます。

終わりに、在京同窓会の益々のご発展と皆様お一人お一人のご多幸をお祈りし、ご挨拶と致します。

近況報告

事務局長 大山 義男



古川高校は男女共学化も4年を迎え、今春第2回目の女子の卒業生を出そうとしています。今年も新制高校になって61回目の卒業式となり、期待に満ちた進路目標を達成してくれるものと思っております。

さて、古川高校同窓会も昨年は

様々な行事がありました。4月に入学式での記念品贈呈式から始まり、在京同窓会総会など各支部総会への出席を行いました。

本年度の本部同窓会総会は8月10日(日)に行われ、渡邊義之同窓会長の下、在京同窓会会長高橋俊裕氏の参加を始め各支部の会長の参加を頂きながら、120名を超える大盛会となりました。

恒例の総会は校歌斉唱の後、12名にも及ぶ褒章受章者への記念品贈呈がありました。総会の協議もつつがなく進みましたが、中でも今年度初めて実施した会費制導入に関して、1200名を超える会費納入者の中間発表(現在1500名を超えています。)もあり、母校に対する期待と心温まる支援の表れをご紹介することが出来ました。また、当日九古会(古高9回生でつくる会)より20万円の同窓会奨学金補助としての寄付がありました。

記念講演では大沼直紀先生(国立大学法人・筑波技術大学学長・高12回卒)「写真」から「長寿社会と聞こえの保障」と題して講演を頂きました。身近な話題ということもあって多くの聴衆は、この分野の日本有数の権威による難聴に対するアドバイスに興味深く耳を傾けていました。その後の懇親会も恩師や歴代校長を迎え、盛況に終える事ができました。

また、本年度は、在京同窓会総会で提案のあった、ふるさと探訪ツアーを在京、在仙、本部の合同企画として開催することも出来、26名もの参加者を迎えて盛会の内に終えることが出来ましたのも大変良かったと思います。



一方、古高生の部活動での活躍も目覚ましいものがあり、数多くの実績を残してくれました。陸上部では2名のインターハイ出場を果たしました。(5000m男子・青木優君(宮崎中出身)・走高跳男子・虎岩憲吾君(色麻中出身))また、昨年4年連続インターハイ出場を逃したソフトボール部は今年新人大会で優勝し、来年の全国大会出場に期待が持てます。他にも今年から出来ました柔道3人制の部門で本校柔道部が初優勝を果たした他、90kg級男子で個人3位に入賞するなど、今後の活動にも期待できます。

これからの本部同窓会の課題として、会員皆様への会報発送を第一に考えております。住所が分からず会報発送が出来なかった方や、昨年発送出来なかった旧制中学の諸先輩方を含め、全会員に会報の発送を考えております。

今後とも本部同窓会として会員皆様の交流と母校後輩の育成のために今後とも努力して参る所存ですので、何卒ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

内科・小児科
長井内科

院長 医学博士

長井弘策

【昭和31年卒(高8回)
古川高校同窓会副会長】

〒989-6154
大崎市古川三日町1-3-25
TEL 0229 (91) 1020



東京、神奈川、埼玉でお仕事をお探しの方、人材をお探しの企業様!!
人材派遣・人材紹介・人材育成のパルススタッフグループにお任せ下さい。

パルススタッフ株式会社

厚生労働大臣認可・人材派遣業 (一般13-300435)

代表取締役 渡邊 道雄
会長

S28年卒 (鹿島台町)

本社 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-4-5

ロータリービル6F

TEL 03-5364-5251 FAX 03-3330-7585

東京営業部 (03-5364-5251) 神奈川営業部 (0462-77-0791)

E-mail : mi.watanabe@palsbk.co.jp

http://www.palsbk.co.jp

平成20年度 総会報告

平成20年度 定時総会開催
6月21日メルパルク東京

平成20年度の定時総会は、6月21日(土)午前11時半から芝公園の「メルパルク東京」において開催いたしました。

総会の部の司会は亀井編集長(S55年卒)が務め、校歌斉唱の指揮には、来賓の大崎市役所・松ヶ根典雄氏に急遽お願いしました。同氏は古高合唱団と東北学院大学グリークラブで合唱指揮者でした。

高橋会長の挨拶のあと、議長は3年連続で昭和39年卒の上野正司氏が務め、次の5つの議案について審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。(4面参照)

〔第1号議案〕
平成19年度活動報告承認の件
〔議案説明〕曾根副会長

〔第2号議案〕
平成19年度決算報告承認及び監査報告の件
〔議案説明〕佐藤事務局長/監査報告(谷地森監事)

〔第3号議案〕
平成20年度活動計画承認の件
〔議案説明〕大友副会長

〔第4号議案〕
平成20年度予算案承認の件
〔議案説明〕佐藤事務局長

〔第5号議案〕
役員選任案
〔2年任期、議案説明〕横山副会長

会長 高橋 俊裕(S33年卒)
副会長 横山 榮治(S20年卒)
春田 紘輔(S27年卒)

副会長 岩城 光将(S30年卒)
曾根 研一(S30年卒)
大友 正行(S33年卒)

事務局長 〇佐々木恭次(S38年卒)
編集長 亀井 明(S55年卒)
監事 谷地森 税(S26年卒)

〇児玉 隆行(S36年卒)
これまでに辞意を申し入れていた青沼康男監事(S19年卒)と佐藤清勝事務局長(S27年卒)は退任しましたが、佐藤前事務局長は今後も幹事として役員に残ります。

また、再任された岩城副会長はその後、病氣療養中でしたが9月28日に急逝しました。同窓会にいつも大勢出席する30年卒の中心的存在だっただけに惜しまれます。

〔8面に関連記事〕
新任の佐々木恭次事務局長は、旧古川市内の生まれで静岡大学工学部合成化学科卒業後、科研製薬(株)に入社。臨床開発とマーケティングを約10年勤め、外資系会社(ジョンソン&ジョンソン他)に移籍したあと、現在は(株)化学工業日報社の子会社で化学物質の法規制データベースの仕事をしておりま。

児玉隆行監事は、旧古川市東町出身で昭和41年慶応義塾大学法学部卒業後、第一銀行入社。昭和47年に第一勧業銀行を退社して同年にミサワホーム(株)に入社。常務取締役、常務監査役等を歴任後、平成20年6月に同社を退社しました。

来賓には、本部同窓会の渡邊義之会長(S34年卒)と高橋亨副会長(S22年卒)、母校から山本照夫校長先生と大山義男同窓会事務局長にご臨席をいただきました。

また、伊藤大崎市長は市議会開催中と地震の事後処理のため生憎と出席が叶わず、前述の松ヶ根氏が市長からの「お祝いのメッセージ」の代読と、一週間前に起きた「岩手・宮城内陸地震」の影響について詳細な報告がありました。大崎市も、主に学校施設の被害が大きかったようです。

講演には、NPO法人蕪栗ぬまつこくらぶ副理事長・事務局長の戸島潤氏にお願いしました。氏は東京の出身ですが、東北大学理学部在学中に伊豆沼のマガンの跳び立ちを見て感動し、大学院卒業(平成9年)後、同くらぶを設立・発起人になった方です。現在、夫人と2女1男の5人で田尻に住み、子育て真っ最中ですが、6月からは大崎市の教育委員(県内最年少)にもなっておられます。

「ラムサール条約と渡り鳥を活用した地域振興の可能性」という演題で、水田として世界で初めて同条約の登録湿地となった蕪栗沼周辺や、化女沼(平成20年10月30日に同条約登録湿地)の映像を紹介しながら、「環境保全」「農業との共生」等話をされ、講演後は質問が飛び交うなど、「首都圏に永住の在京会員」としては、故郷へと続く想いが強く感じられた講演でした。

総会終了後は別フロアの宴会場で賑やかな宴となり、楽しいひと時を過ごしました。

そして思いは1月31日(土)開催の四校合同新年会に――。今回は私どもが担当幹事校です。是非皆さまもお出かけ下さい。

平成20年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

Table with 4 columns: Name, Graduation Year, Name, Graduation Year. Lists attendees such as 山本 照夫 (S34), 渡邊 義之 (S34), 高橋 亨 (S23), etc.

あなたの夢を実現するためのお手伝い

- 代表取締役社長 中鉢 泰平(昭和37年卒)
1. イタリア政府観光局・日本イタリア旅行協議会常任理事・おおさき宝大使・鳴子町観光大使
2. 首都圏みちのく会会長・首都圏鳴子温泉郷の会会長・首都圏大崎連絡協議会副会長兼事務局長
3. みやぎの夢クラブ役員・在京宮城ふるさと協議会常任理事・東京都中野区民会会長
4. ふるさと小学校、中学校、高等学校同窓会幹事・大学同窓会関係会長及び役員
5. 価値ある旅を共に探るヒューマン夢クラブ・国際旅学研究会主宰
* 世界最初の国民学校創立者ベスタロッター & 世界最初の幼稚園創立者フレーベル
日本ベスタロッター・フレーベル学会会員
* 京都セルバンテス懇話会・財団法人さくらの会会員

Motto: ●旅の安売りは危険、安心安全が第一... ●机上の安売りプランではなく、目と足で歩いた経験のプランを提供 ●人生は旅のようなものであり、旅もまた人生のようなものである

<第1号議案> 平成19年度 活動報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成19年 5月20日(日)	会報蛭雪39号と総会案内発送 在仙同窓会総会出席(門脇幹事)	信陵会館 仙台エクセルホテル東急 東京ガーデンパレス
6月23日(土)	総会・講演会・懇親会 講演講師 伊藤康志氏(大崎市長) 演題「大崎市の昨日・今日・明日」	大崎市グランド平成
8月5日(日)	本部同窓会総会出席(高橋会長、春田・曾根副会長)	大崎市グランド平成
12月16日(日)	会報蛭雪40号と四校合同新年会案内発送	信陵会館
平成20年 1月26日(土)	「第15回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校・古学) 古高 89名・黎明 71名・古工 48名・古学 49名 (来賓 3名 合計260名出席)	上野精養軒
3月1日(水)	古高卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式出席 (高橋会長、佐々木恭幹事、亀井編集長)	古川高校

◎役員会：信陵会館
 第1回 H.19年 5月20日(日) 10名(総会運営他)
 第2回 H.19年 9月29日(土) 19名
 (在仙・在京・本部総会報告、40号会報発行内容他)
 第3回 H.19年12月16日(日) 18名
 (四校合同新年会及び定時総会準備他)
 第4回 H.20年 3月22日(土) 13名(四校合同新年会報告他)

◎四校合同幹事会：東京文化会館会議室他
 第1回 H.19年11月 1日(木)
 第2回 H.19年12月 7日(金)
 第3回 H.20年 1月14日(月)
 第4回 H.20年 3月15日(土)
 古高出席者：春田 佐藤(清) 曾根 渡辺(吉) 岩崎 佐々木(恭)

<第3号議案> 平成20年度 活動計画案

平成20年4月1日～平成21年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成20年 5月18日(日)	在仙同窓会総会出席(横山副会長)	仙台エクセルホテル東急
5月24日(土)	会報「蛭雪41号」と総会案内発送	信陵会館
6月21日(土)	総会・講演会・懇親会 講演 戸島 潤氏 (熊栗ぬまっこくらぶ副理事長・事務局長) 演題「ラムサール条約と渡り鳥を活用した地域振興の可能性」	メルパルク東京
8月10日(日)	本部同窓会総会出席	大崎市グランド平成
12月20日(土)	会報「蛭雪42号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成21年 1月31日(土)	「第16回四校合同新年会」開催 (幹事校・在京古高同窓会)	上野精養軒
3月1日(日)	古川高校卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式(出席)	古川高校

◎役員会：
 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員会を開催
 第1回定例5月24日開催：総会運営

◎四校合同幹事会：
 四校合同新年会(H21.1.31)にむけて、10月下旬から1月中旬までの間に3～4回開催する。
 古高出席者：春田 曾根 岩崎 佐々木(恭) 高橋(淳)

◎その他：
 別途事業計画 検討中

第2・4号議案 平成19年度決算／平成20年度予算

収入の部

科目	H19年度決算額	摘要	H20年度予算額
年会費	766,000	348名 383口 @2,000	750,000
広告料	180,000	企業・個人広告	180,000
寄付・祝儀金	12,000	個人寄付	10,000
雑収入	33,945	預金利子、総会・新年会剰余金	50,000
収入計	991,945		990,000
前期繰越金	2,986,536		2,815,387
合計	3,978,481		3,805,387

支出の部

科目	金額	摘要	金額
会議費	114,655	役員会交通費、リボン購入費他	130,000
印刷費	486,200	会報、案内状、封筒他	500,000
事務用品費	34,014	コピー、文具代	30,000
事務所経費	52,000	信陵会館年間契約料他	60,000
通信費	206,215	電話、切手、はがき	220,000
慶弔費	99,000	東京蛭雪賞、祝儀	100,000
旅費交通費	139,630	本部・在仙総会、卒業式等	130,000
予備費	0		50,000
雑費	31,380	年会費振込手数料他	30,000
支出計	1,163,094		1,250,000
次期繰越金	2,815,387		2,555,387
合計	3,978,481		3,805,387

佐藤 啓三

(S40年卒 中新田)

中小企業診断士・ISO審査員・エネルギー管理士



ISO(品質・環境)・技術・経営
 コンサルティング・グループ
 株式会社 経営技術機構 所属

〒105 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックスビル1階
 -0001 TEL 03-5425-2491 FAX 03-5425-2492
 自宅 〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19
 携帯 090-1438-9132 E-mail:FZN04730@nifty.ne.jp

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役
 株式会社アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路(昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
 -0035 第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
 電話(3739)2468
 FAX(3732)7700
 HOT Line 090-3202-6393

会員による自由投稿

米大手銀行に

40年勤務して②

昭31年卒 浅野 清



―外国為替管理法(外為法)と福利厚生施設について―

外為法は幅も広く、専門的な知識が必要となります。昭和20年に大蔵省は外国為替銀行に対して外国為替取引の停止を通告する。昭和21年GHQは横浜正金銀行を解散し、第2の会社として東京銀行を設置することを許可した。昭和24年、1ドル360円の単一為替レート設定、外国為替銀行11行が認可された。昭和46年、円貨の海外持出限度を引き上げ2万円(10万円まで。東京為替市場にドル売り殺到、日銀買い支え。終戦直後の為替の移り変わりについてお話し致しました。

私が入行した昭和31年頃は、特に外貨不足で外為法によって日本から海外に出る外貨を制限されていました。皆さんも経験されている方が多いと思います。が、海外旅行・留学：会社の海外

勤務で2・3年滞在される方等、海外勤務の方の給料はドルで支給されるので良いのですが、留学生は大学の授業料・生活費等、苦勞された事を聞いて居ります。大学を卒業するまで4年間もかかりませんでした。アメリカでは学生アルバイトは認められていません。

私が仕事をしていた頃は、1人3000ドルまでと決められていましたが、現在はドルの制限は撤廃され、何万ドルでも持つて行くことができます。

円も海外の空港にある両替所でその国の通貨と交換ができるようになり便利になりました。私達が海外旅行する場合は、為替公認銀行で円をドルに交換し、その日の為替レートで買います。銀行側ではT/TSELLINGと言います。残ったドルを銀行に持って行き、ドルを円に交換してもらいます。これを銀行側T/TBUYINGと言います。

為替リスクは少ないですが、ドル売買には手数料がかかります。輸出、輸入の場合もその日のレートを使います。輸出企業は、ドル安・円高を望みます。経済産業省は輸出企業に貿易保険に入ることを進めています。輸出企業が外国に輸出したとき(元掛債権、例えば10億円)、回収不能になった場合は、日本貿易保険の適用で97・5%が補填されるため、業績の影響は軽微となります。為替レートは安定していることが望まれます。キューバ国立銀行では決済資金不足のため支払い不能になった

り、中国ではインフレ防止のため外貨規制強化をしています。

日本企業と外資企業(アメリカ)の福利厚生施設について触れましょう。

日本企業の場合は色々な所に、海・山・温泉・観光地に従業員と家族が利用する施設があり、設備されていますが、外資企業の場合、当行は海外に不動産を持たない主義です。施設はひとつもありません。東京の青山と横浜の港北区に自社ビルを建て、私も自社ビルで仕事をしましたが、退職後売却されました。

当行はクラブ活動が活発に行われています。私はチェース・マンハッタンクラブの副会長を5年間務めました。会長1名、副会長1名、クラブ委員20名、会計2名、監査2名、選挙によって選出されます。

クラブは野球部、テニス部、将棋部、囲碁部、卓球部、釣り部、スキー部、ドライブ部、お茶、お花とあり、クラブ委員会で1年の予算と計画をたてます。

(一)〈春の日帰り旅行(バス)〉行員と家族が参加できます。(二)〈夏の納涼パーティ〉行員のみ。(三)〈海の家・旅館とホテル〉行員と家族が利用する。(四)〈秋の泊旅行〉行員のみ、バス5〜6台。(五)〈Xマスパーティ〉行員の家族全員と男女恋人同伴で参加。私は将棋部と釣り部に所属しました。将棋部は囲碁部と合同で箱根のホテルに一泊し、一杯飲みながら夜中まで試合をします。釣り部の場合は川釣りや海釣りとなりま

す。海釣りの場合は外人も誘い、千葉県勝浦港とか神奈川県葉山港・金沢八景港から沖に出て釣ります。タイ、サバ、キス、ヒラメ、カレイ、カワハギ、イカ等、何がかかってくるかわかりません。川釣りの場合はハゼ・ニジマス等になりますが、外人女性と日本人女性も参加しますのでとても楽しく、釣った魚を塩焼きにして食べ、バーベキューもします。

続いてXマスパーティについてお話しをしましょう。Xマスパーティは行員家族全員と恋人同士の男女も参加できます。子供も含めますと500名から600名位になります。会場は都内のホテルで行われます。都内のホテルはこれまでに全て使いましたので、2回3回と利用したホテルもあります。

パーティはアメリカ式に行われますので本当に素晴らしく、私のように田舎者にはただ驚くばかりでしたが、さすがアメリカの銀行だと強く感じました。特に目につくのは女性が身につける着物とドレスが素晴らしいです。

パーティにはビンゴと抽籤会が必ず行われます。従業員と家族のために、千葉県の金谷の旅館と、静岡県の熱川温泉の小倉ホテルと契約を結び、1年中利用できるようになっています。小倉ホテルの社長はチェース銀行でコンピュターの仕事をしていましたので、彼とは先輩後輩として、現在も交際しており、声をかけて頂ければいつでも連絡をとります。私は家族で行ったり、中学校の同級生、

チェース銀行OB有志による忘年会等に利用しています。料理も良いので有名になっており、海岸沿いに建っているホテルですので晴れた日には海の眺めもよく、伊豆七島も見えます。

日本企業と外資企業(当行)の場合についてお話し致します。

日本企業の場合は休暇を取るのに遠慮しながら取っているように聞いていますが、当行では考えられません。入行して4年間は1年に2週間の休暇、5年目から1日多くなり最高で25日間の休暇となります。当行は1週間必ず休暇を取ることになっており、これは不祥事を早く発見するためとも考えられます。銀行は年度内に休暇を取るようになっています。息子が米国の大学に留学していましたので、4週間の休暇を取り、本土に3週間、ハワイ州に1週間家族旅行をしたことがあります。外資系企業では当然の権利であると言う考え方が強いようです。

ところで、米国を震源地とする金融システム不安の影響は、先進国から新興国にまで全世界に広がりました。

「百年に一度の経済危機」とも言われますが、金融機関の破綻、大型再編と救済合併等、金融市場の混乱はまだしばらく続くと思われられます。

それにしても、米国をはじめ世界金融の「救世主」が日本の金融機関に求められる時代が来るとは、想像することはできませんでした。

「ふるさと探訪ツアー」に参加して

古高同窓会・在仙古高同窓会・在京古高同窓会共同企画になる

「ふるさと探訪ツアー」は好天秋日の11月5・6の両日、大崎圏域の探訪・学習と同窓会の親睦・交流をモットーに26名が参加して楽しく展開された。

5日午前10時10分、JR古川駅に集合した一行はバスに乗って母校に向かい、高橋代表世話人(在京会長)のざつくばらんな挨拶やガイド役の松ヶ根さん(大崎市20万都市推進室長)音頭による校歌合唱でムードアップ。



古高授業中の在校生と

山本校長や大山同窓会事務局長の出迎えを得、廊下で孫のような女子や男子の生徒達から「こんにちは・」の明るい挨拶を受けながら、かつての面影をとどめない建物群を目にし「いやあ、浦島太郎だな・」のささやき。次いで大正デモクラシーの旗手

であった民本主義の吉野作造氏の偉徳を偲び(記念館)、緒絶橋のたもとの食の蔵「醸室(かむろ)」を訪ね伝統料理の昼食。

午後、千葉周作ゆかりの斗笠稲荷神社、

国史跡の宮沢遺跡、10月30日にラムサール条約に登録されたばかりの化女沼を一巡し、「ささにしき」や

「ひとめぼれ」を開発した古川農業試験場で最先端の研究など、学び、国史跡で有名勝でもある有備館を散策し、ホテルオニコウベへ。

夕食兼懇親会は、渡邊同窓会長の挨拶で開幕し、自己紹介やら自由スピーチやら。最後は「古高応援歌祭り」となる。

翌日は朝日に輝く荒雄岳や壮大なカルデラに目を見張り、8時30分に出発。間歇泉を手始めに、大崎圏域の治水と利水の要である鳴

新しい発見・再認識もあった「ふるさと探訪ツアー」参加者 (敬称略)

- [本部同窓会] 山本昭夫(学校長) 高橋 亨(昭23) 渡邊義之(昭34) 松ヶ根典雄(昭51) 大山義男(昭56)
- [在仙同窓会] 佐々木武彦(昭30) 高橋健三(昭30) 堀越五郎(昭30) 荒谷正咲(昭38)
- [在京同窓会] 前田浩五郎(昭20) 我孫子静夫(昭24) 門脇 健(昭24) 同夫人 佐藤清勝(昭27) 春田紘輔(昭27) 金子 康(昭28・仙台在住) 佐藤 廣(昭29) 門脇喜代志(昭30) 横山 武(昭30) 野田利美(昭32) 大友正行(昭33) 高橋俊裕(昭33) 同夫人 佐々木恭次(昭38) 上野正司(昭39) 高橋 淳(昭46)

子ダム(堤高94.5m)や錦秋の鳴子峡などを見ながら「凜菜上の家」で郷土料理の昼食。午後は雁などの大飛来地で有名なラムサール条約の蕪栗沼湖畔で「雁物語」に耳を傾け、加護坊山(224m)の山頂に立って大崎耕土を眺望し、更に天平ロマン館や黄金山神社、涌谷城を訪ねて岐路に着く。

かくして、新しい発見や再認識を伴いながら、同郷・同窓の絆を深めた「ふるさと探訪の旅」は終了した。(S24 門脇 健)

この度、古高同窓会が主催したツアーに参加しました。参加人員は20数名と少なかつたのですが、天候に恵まれて絶好のツアー日和となりました。

やはり地元に住る同窓生は、ふるさととは常に探訪しているもので、興味持てなかつたと思えます。

私は4年前に江戸屋敷敷放となり、陸奥の国に来た者です。興味本位で参加しました。「老人老い易く、金なり難し」で気が付いてみたら、私の上の先輩は5、6人という淋しいものです。

古川駅を出発したバスは、母校、吉野記念館、岩手山地区を廻り、鬼首のホテルに一泊。宴会の始めに自己紹介があったが、これが大変面白く、氏名その他覚えたつもりが朝になると、コロッと忘れて

おる始末で氏名と顔が一致せず、声を掛けたいが掛けられない始末です。



ホテルオニコウベにて

挨拶をしてくれて、清々しい心地で母校を後にした。昼食は土蔵群を改造した「醸室」でハット料理を食べた。荒谷の斗笠稲荷神社では神主さんから神社の由来や歴史を聞く。境内には幕末の剣聖千葉周作が少年時代を過ごした屋敷跡があり、この地で周作少年はどんな修行に励んだのだろうかとふと去来した。

古川農業試験場では新しい稲作りの品種改良の研究、四毛作の稲などを見学して毎日食べている米についてとても勉強になった。

バスの中ではガイド役松ヶ根さんの音頭で夜本番に向けての校歌等のリハーサルで楽しむ。夜の部は新たに山本校長他4名加わり、更に賑やかになり、校歌、囃南歌等を合唱し遅くまで宴会は最高に盛り上がった。

2日目も天候に恵まれ、鬼首の間歇泉、鳴子ダム、新鳴子峡など紅葉群を散策した。特に鳴子ダムの紅葉は見事で、岩出山の豪農屋敷「凜菜上の家」で豪華な昼食を摂る。明治初期の建物で材料は良釘一本使っていない全てが良く工夫された作りの家だった。

蕪栗沼には久しぶりに多くのマガン群れの飛来を眺めた。加護坊山は四方眺望がよく近隣の町々や私の故郷松山はすっかり見えた。最後に古川駅に戻り、名残惜しくそれぞれ散会した。

今回の旅行は内容もよく、松ヶ根さんの名ガイドで車中ほぐれて楽しかったし、多くの先輩、後輩の方々と顔見知りになり、とても楽しい2日間の旅でした。(S30 横山 武)

「佐々木武彦君の叙勲を祝う会」に出席して
昭和30年卒 三塚 正志

佐々木武彦氏(S30年卒、仙台市在住)は、平成20年春の叙勲で「瑞宝双光章(科学技術振興功労)」を受章された。氏は、東北大農学部卒業後農林省に入省、昭和44年から宮城県農業試験場古川分場において、「耐冷性・良食味水稲の研究開発」をされた。その成果の一つが、「強耐冷性・良食味水稲」とめばれである。この米は、現在「宮城ひとめぼれ」「岩手ひとめぼれ」「大分ひとめぼれ」などの商品名で、全国で販売されている。氏は、この「ひとめぼれに育成」で瑞宝双光章を受章された。



受章の佐々木武彦氏夫妻(前列中央)、その右が筆者

平成20年7月11日仙台で古高第7回生(昭和30年卒)有志による「叙勲を祝う会」が開催された。出席者は24名で、主に宮城県内の在住者であった。在京同期生では一人が出席した。

氏の話によると、文部科学省で勲章を受章したのち、皇居で天皇陛下からお言葉を受けられた、とのことである。氏は挨拶の中で、「水稲の研究と水稲の生産(農業)」の問題、「日本の食糧の過去・現在・将来」の課題など興味ある話をされた。祝宴は同期会であり、懐かしい同期生と懇談することができた。

会員通信

●雪雪41号楽しく拝見。母校の大学進学成績が向上したニュースを読んで、うれしく存じています。(S14中澤 廣)

●在京田尻会の副会長をしておりますが、在京田尻会の役員候補者を探しています。経営労務クラブは旧古中の長老故・師勝夫氏の創設、中堅企業の経営者を新会員に迎えない。(S18豊嶋 弘三)

●少年野球チームの監督を元気にまだ続行して居ります。土日の練習と試合を楽しみに35年たちました。新生古高の更なる発展をお祈りします。(S22諸岡 久男)

●昨秋(19年)の叙勲により旭日双光章を受賞しました。(S22南相馬市社会福祉協議会会長 門馬 秀夫)

●私こと平成20年秋の叙勲に際しまして瑞寶双光章の榮に浴身に余る光榮に感激いたしております。これもひとえに永年にわたって皆様から頂いたご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げます次第でございます。今後はこの榮譽に恥じないよう一層精進し些かなりともご芳情に報いたしを賜りますようお願い申し上げます。(S26鈴木 桂吾)

●趣味で始めた鎌倉彫も27年目になります。あと6年続けば半寿の記念に、故郷で個展を開けたら良いなあと思っております。(S28早坂 明久)

●いつも雪雪会報楽しく読んでいます。

●病気でしばらく遠ざかっていたゴルフも、また、おもしろくなってきた。卓球や山はいままで通りやっているが、中学3年の孫息子がワンゲルに入門したので、いっしょに山行が楽しめるぞうだ。(S29三浦 憲一)

●12年後、囲碁に親しむようになって2年。ハガキで一手ずつを打つ郵便碁で7人、1日一手を打つメール碁で9人と対局中。いずれも余白の交換文が楽しい。(S30木村 哲弥)

●去年(19年)から今年(20年)にかけて、積立てた年金がガタガタと減りました。今年(20年)も早々と5月に女声合唱団の伴で加のトロントと米国のワシントンDCに連れて行って貰ったからです。前回より笛がうまくなったね等と褒めて貰い、気を良くしているところです。(S30高橋 広)

●ターゲット・バード・ゴルフS.T.B.G.に、はまっております。日本T.B.G.協会公認指導者として、楽しみなながらプレーを行っております。(S30師山 政夫)

●同窓会御世話様、いつも御苦勞様です。義父(93歳)逝去。従姉(タリクダックステナリ・マンガ佐々木通正)かつて古高に在学(夫人)逝去。愚娘津田塾大入學。(S33藤 佐々木 商事 佐々木 光一 路)

●市ボランテアにとりくみ3年目。社会福祉協議会では、明日は我が身のこと、考えさせられます。青少年問題協議会では、子供たちのかかえる現状に胸がいたみます。(S33早坂 英郎)

●現役に経営に邁進致しています。(S35柳 大澤 邦敏)

●6月25日で満67歳と成ります。父が47歳で早逝した事を考えると、随分長生きしたものだと思えます。昨今は家族の安寧を願ひ乍ら、9月に4歳と成る孫娘との毎日を楽しんで居ります。(S35内田 将夫)

●縁あって、現役合格「早稲田塾」のマネジメントの一員となりました。大学受験についてお知りになりたい点(AO入試等)ありましたら、ご連絡下さい。(S35柳 ヒューマン デザイン「早稲田塾」我妻 一美)

●8月/月は顧問として勤務中。残りはゴルフ・畑問(庭)仕事に専念してまいります。又、毎月の様に帰郷し、本家(空家)の管理、近隣散策、古高バスケット部訪問と介隣施設入居の母への見舞等、結構忙しく過ごしています。(S36高崎 亜鉛工業 阿部 浩)

●肩も脚もまだまだいける。週末の野球の試合が生きがいがいい。喧嘩ごしでやってます。(笑)(S36医療法人若葉会 若葉病院 江崎 肇)

●「会員通信」で諸先輩のご活躍・ご発展に接し、感服すると同時に元気をもらっています。「雪雪」が来るのを楽しみにしております。所では今「ケントス」(オールデイズ ライフハウス)にはまっております。60年代のアメリカンポップスの生バンド、ポーカーの迫力に圧倒されつつ、学生時代に浸っております。(S36長井 清)

●相変わらず、野球漬けの日々を送っております。会員通信欄で先輩も同じく還暦野球で頑張っていることを知り、昔一緒にやったことを、なつかしく思い出されます。リーグは違っていますが、一度お会いし、又試合をやってみたい。(S37六戸 照男)

●4月20日の第10回長野マラソンに出場、連続8回目になります。10回を目標としますが、アルプスの山々の登山も欠かさず、とても楽しいです。アルコイル依存症者の回復の手助けとして30年目です。一生続けるでしょう。(S37西村 青果樹 渋谷 孝)

●日本百名山は、夏に難関の南アルプス「悪沢・赤石・聖岳」を一挙に制覇。「利尻岳」は北海道日本5日間1万円バス利用で登頂。残るは道東3座とトムラウシ。今夏には完全登頂です。(S37千坂 孝夫)

●来年度、野球部のOB会をする予定です。ので、返信ハガキの「在校生のクラブ活動」は大変ありがたいです。(S37柳 イナシヨナル ヒューマン トラベル 中鉢 泰平)

●小生、子供の頃は30歳以上は生きる事は無いと思っておりました。明治以来、日清・日露、第1次対戦、昭和初期から15年戦争と、いくさ続きの歴史から成年に到れば、戦いに参加するものと考えており、予想の倍以上生きる結果になりました。先人の血の賜ものと思う。(S38今野 丈夫)

●資源や食料の自給率の低い日本は、化学の力を利用しなければならぬと思っております。「創造の種」を育てる環境作りと「科学の樹」を育てることに力を入れなければならぬ。(S38柳 高橋 忠世)

●(S38)科学技術振興機構「高橋忠世」あつという間に1年が過ぎました。その時の通過点として大事に思い出したいと思います。仕事も若い人(学生)が相手なので、私の年齢も停まっています(?)と言えなかなー!よろしくお願ひします。(S39文教 大学 笹原 誠一)

●同窓会事務局の皆様、大変お世話になっております。今年3月に動物衛生研究所を無事停年退職し、尚現在も再任用で働いております。また、日本獣医生命科学大学の客員教授も併任させていただいております。(S41)動物衛生研究所 高橋 秀之

●(S39)文教 大学 笹原 誠一

首都圏大崎連絡協議会 「発足1周年記念総会 & 懇親会」のご案内
◆期 日：2009年2月7日(土)
◆場 所：アルカディア市ヶ谷(旧私学会館)
◆時 間：午後13時~16時位まで
◆会 費：¥8000円
連絡先：首都圏大崎連絡協議会事務局
TEL：03-5385-3693
FAX：03-5385-3694
出口：地下鉄有楽町線、南北線市ヶ谷駅A1-1 都営新宿線市ヶ谷駅A1-1、A4 JR市ヶ谷駅 徒歩2分

税 理 士 青 沼 康 男
不動産鑑定士 (昭和19年卒)
〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805-0014
TEL 03-3452-2004
FAX 03-5476-8006

四校合同新年会 1月31日(土) 新春コンサートを開催

♪リアルタイムの感動を
分かち合いましよう♪

郷土出身で、東京で活躍している音楽家に出演していただくコンサートは、今回が3回目になります。以下に出演の快諾を得た方々(敬称略)をご紹介します。

当日はリアルタイムの感動をお届けします。心やすらぐひとときをお過ごしいただきたいと思えます。(曾根)

ピアノ／野間春美

(古川出身、古女S63年卒)

古川中学時代から各種コンクールに入賞、桐朋学園大学ピアノ科在学中よりアンサンブルピアノリストとして活動を開始。NHKの児童合唱団をはじめ、ソリストや合唱団との共演が多く、放送・レコーディング等で活躍。伴奏ピアノのスペシャリスト。

ヴァイオリン／工藤春彦

(中新田出身、S47年卒)

古高吹奏楽部ではホルン担当。国立音大ではホルンからヴァイオリンに転向。クラシックオーケストラのコンサートマスターを経て、現在、NHKの歌謡コンサートや紅白歌合戦に出演している東京放送管弦楽団のコンサートマスター。室内楽やソロでも活躍している。

フルート／相澤政宏

(浦谷出身、S62年卒)

古高吹奏楽部出身。東京音楽大学在学中の20歳で東京交響楽団に入団。その後、首席奏者に就任し、同楽団のソリストとして度々登場。オーケストラやソロ以外にも室内楽やレコーディングなど幅広い活躍をしている。

バリトン／成田博之

(高倉出身、S62年卒)

古高吹奏楽部出身。国立音大音楽科、同大学院オペラコース修了。その後イタリアに留学。日本声楽コンクール第1位、国際ミトロプーロス声楽コンクールで最高位入賞などの栄冠に輝き、オペラや宗教曲、第九等のソリストとして国内外で活躍。

サクソフォン／大和田雅洋

(小牛田出身、平成元年卒)

古高吹奏楽部出身。東京芸大在学中から国内・国際コンクールに入賞。同大学院卒業後、クワルテットを主宰する傍ら、各地でのリサイタル、サロンコンサート、クリニック等で活躍している。

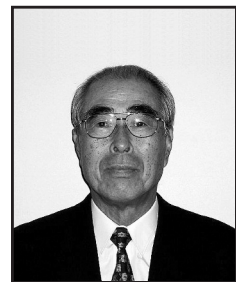
クラリネット／伊藤圭

(古川出身、平成8年卒)

古高吹奏楽部出身。東京芸大在学中に東京文化会館主催「新進音楽家デビューコンサート」オーディションに合格。同大学卒業後、日本クラリネットコンクール第1位。現在、東京都交響楽団に在籍し、室内楽・ソロの分野でも積極的に活躍している。

岩城副会長 死去

われらが岩城光将君を悼む
昭30年卒 門脇 敏明



在京古高同窓会の会合での出席者数で、常に他を圧しているのは昭和30年卒生である。その中心人物である岩城光将君(副会長)が急逝した。残念無念である。去る10月1・2日に船橋市内の斎場で執り行われた通夜・告別式に多くの同期生が馳せ参じ、遺影に深々と頭をたれ、お別れした。

四校合同新年会、6月の定時総会はもちろん、同期生での4月の観桜会、10月の紅葉狩り、12月の忘年会に先頭切って参加し、再会を喜び合い、二次会、三次会まで大きな地声で喋りまくり、飲み、歌って会を盛り上げるのも岩城君だった。

振り返ってみれば、わが同期生は日本の進路を大きく変えた二・二六事件、支那事変の起こった昭和11・12年に生まれ、太平洋戦争三年目の18年に国民学校に入学、そして敗戦十年目の30年に古高を卒業し就職、或いは大学を経て戦後日本の復興にいささかなりとも貢献し、大方が定年退職した面々。人生80年時代一己の人生達成(終章)へ助走をはじめたばかりである。情熱家の岩城君は病魔に

冒され、それを完成することなく逝った?...。さぞ無念だったろう。

「人生は短い。わずかな時しか、生きられないからというよりも、そのわずかな時のあいだにも、わたしたちは人生を楽しむ時をほとんどもたないからだ/もとも長生きした人とは、もともとも多くの歳月を生きた人ではなく、もともともよく人生を体験した人だ」(ルソー「エミール」)

「岩城君は、まさにもつともよく人生を体験した人だったかも知れない」と納得することにした。通夜帰り、一行は岩城君の追憶とともに、3月に荻原(旧姓浅野)睦男君、8月に佐藤久君が旅立たれことに思いを馳せつつ、「わが人生に悔いなし」といえるような暮らしをしていこうと誓い合って散会した。

心よりご冥福を お祈りいたします

伊藤俊六郎氏 (昭27年卒) 平成20年8月9日

種村 雄一氏 (昭27年卒) 平成20年10月1日

佐藤 久氏 (昭30年卒) 平成20年8月3日

編集後記

世界的な金融危機で憂鬱なムードがいつぱいですが、この逆境の時にこそ明るい話題をお届けしたいと思っております。

今年の四校合同の新年会には、郷土出身の一流音楽家が集結します。

明日を素敵に生きるために、音楽の豊かさ、奥深さをお伝えします。(曾根)

趣味三昧

特定非営利活動法人
日本刀剣保存会

みやのていじ
理事長 宮野貞司 S34年卒

11月8日京王プラザホテルで開催された(財)日本美術刀剣保存協会の全国大会において、最高位である天位(7度目)に入賞し、佐々淳行会長より表彰されました。

〒142-0053 東京都品川区中延3-13-17
TEL・FAX 03-3782-5326

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

専任スタッフ・有資格

電子納品作成支援
おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

CALS/EC-インストラクター	4名
電子化ファイリング	5名
ファイリングデザイナー	2名
文書情報管理士	5名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)